



# 平成31年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



平成31年1月25日

上場会社名 株式会社 アクシーズ  
 コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月1日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 099-223-7385

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年6月期第2四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第2四半期	9,868	0.0	1,245	25.0	1,297	25.4	931	19.3
30年6月期第2四半期	9,866	2.5	1,661	6.5	1,739	8.7	1,154	10.6

(注) 包括利益 31年6月期第2四半期 913百万円 (21.3%) 30年6月期第2四半期 1,160百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第2四半期	165.84	
30年6月期第2四半期	205.49	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第2四半期	15,926	12,936	81.2
30年6月期	15,360	12,444	81.0

(参考) 自己資本 31年6月期第2四半期 12,936百万円 30年6月期 12,444百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		75.00	75.00
31年6月期		0.00			
31年6月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,050	1.6	2,700	9.7	2,800	9.3	2,000	6.2	356.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期2Q	5,617,500 株	30年6月期	5,617,500 株
期末自己株式数	31年6月期2Q	1,649 株	30年6月期	1,608 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期2Q	5,615,877 株	30年6月期2Q	5,615,965 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の判断に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調が見られるものの、米中貿易摩擦の拡大や英国のEU離脱等の影響から、先行きが不透明な状況が続いております。

鶏肉業界におきましては、輸入鶏肉数量及び国内における鶏肉の生産が増加したことにより、需給バランスが緩み、鶏肉相場の低迷が続いております。加えて、原燃料価格が高騰しており、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高98億68百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益12億45百万円（同25.0%減）、経常利益12億97百万円（同25.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億31百万円（同19.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①食品

食品事業におきましては、継続した製造能力増強を行い出荷数量が増加いたしました。しかしながら、肥育部門における飼料原料価格の上昇や生産歩留まりの低下等の影響が大きく、売上高は84億46百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は、10億65百万円（同27.8%減）となりました。

## ②外食

外食事業におきましては、キャンペーン商品及びクリスマス商戦の好調等によって販売は好調だったものの、一部店舗リニューアル費用の発生や人件費の上昇等により、売上高は14億22百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は、1億77百万円（同2.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ5億65百万円増加し、159億26百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億58百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ73百万円増加し、29億89百万円となりました。これは主に、買掛金が1億36百万円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億92百万円増加し、129億36百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5億10百万円増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、投資活動及び財務活動により資金がそれぞれ3億4百万円及び4億20百万円減少したものの、営業活動により資金が13億84百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ6億58百万円（9.8%）増加し、当第2四半期連結会計期間末には73億73百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、13億84百万円の資金増加（前年同四半期は10億82百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が13億19百万円、減価償却費が2億73百万円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、3億4百万円の資金減少（前年同四半期は1億62百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が2億36百万円、貸付けによる支出が1億43百万円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、4億20百万円の資金減少（前年同四半期は2億50百万円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額が4億20百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月10日の「平成30年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,724	7,383
受取手形及び売掛金	1,760	1,838
製品	390	254
仕掛品	208	242
原材料及び貯蔵品	660	587
その他	334	407
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,077	10,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	661	656
工具、器具及び備品(純額)	1,597	1,459
土地	2,344	2,344
その他(純額)	78	107
有形固定資産合計	4,682	4,567
無形固定資産	17	15
投資その他の資産		
投資その他の資産	583	629
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	582	629
固定資産合計	5,283	5,212
資産合計	15,360	15,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	365	502
未払金	1,349	1,294
未払法人税等	445	420
役員賞与引当金	11	—
その他	179	239
流動負債合計	2,351	2,456
固定負債		
社債	35	35
役員退職慰労引当金	114	112
退職給付に係る負債	167	175
その他	247	210
固定負債合計	565	533
負債合計	2,916	2,989
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	11,493	12,004
自己株式	△1	△1
株主資本合計	12,373	12,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	53
その他の包括利益累計額合計	71	53
純資産合計	12,444	12,936
負債純資産合計	15,360	15,926

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	9,866	9,868
売上原価	6,038	6,434
売上総利益	3,827	3,434
販売費及び一般管理費	2,166	2,189
営業利益	1,661	1,245
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	3	3
持分法による投資利益	10	8
受取家賃	15	15
為替差益	2	1
受取保険金	33	15
その他	12	9
営業外収益合計	79	54
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	1,739	1,297
特別利益		
受取保険金	—	28
特別利益合計	—	28
特別損失		
固定資産圧縮損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	1,739	1,319
法人税、住民税及び事業税	622	416
法人税等調整額	△37	△27
法人税等合計	585	388
四半期純利益	1,154	931
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,154	931

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,154	931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△17
その他の包括利益合計	6	△17
四半期包括利益	1,160	913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,160	913
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,739	1,319
減価償却費	245	273
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	7
受取利息及び受取配当金	△4	△4
その他の営業外損益(△は益)	△60	△39
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△10	△8
固定資産圧縮損	—	6
その他の特別損益(△は益)	—	△28
売上債権の増減額(△は増加)	△304	△78
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32	173
仕入債務の増減額(△は減少)	△62	136
未払金の増減額(△は減少)	169	18
その他	99	△14
小計	1,731	1,750
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△0	△0
賃貸料の受取額	15	15
法人税等の支払額	△713	△438
その他	45	52
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,082	1,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△195	△236
無形固定資産の取得による支出	△33	—
投資有価証券の取得による支出	△4	△8
貸付けによる支出	△25	△143
貸付金の回収による収入	99	69
その他	△2	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162	△304
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△250	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250	△420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	669	658
現金及び現金同等物の期首残高	5,414	6,714
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,083	7,373



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,467	1,398	9,866	—	9,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,467	1,398	9,866	△0	9,866
セグメント利益	1,476	182	1,659	1	1,661

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,445	1,422	9,868	—	9,868
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,446	1,422	9,868	△0	9,868
セグメント利益	1,065	177	1,243	1	1,245

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。